ARCSERVE D2D FOR LINUX R16.5

Arcserve® D2D for Linux r16.5

RDX 利用ガイド

Rev: 1.1

arcserve



1.	はじめに1				
	1.1 構成例	1			
	1.2 製品のインストールと操作	1			
2.	バックアップ先の設定とバックアップ	2			
	2.1 バックアップの設定とバックアップ	2			
3.	リストア	2			
	3.1 ファイルのリストア	2			
	3.2 ベアメタル復旧	3			
4.	注意事項	4			
	4.1 バックアップ データ ボリュームの除外	4			
5.	製品情報と無償トレーニング情報	5			
	5.1 製品情報	5			
	5.2 トレーニング情報	5			
	5.3 お問い合わせ	5			

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright ©2014 Arcserve(USA),LLC. All rights reserved

1. はじめに

Arcserve D2D r16.5 for Linux(以降 D2D Linux)は、RDX を使用したバックアップ/リストアが可能です。このガイドでは D2D Linux で RDX を利用する際の手順を示します。

1.1 構成例

バックアップ対象サーバへ RDX を接続し、RDX へバックアップします。



※ここでは RDX を接続する例を示していますが、バックアップ対象マシンのローカル ハードディスクにバックアップす る場合も同様の手順でバックアップ/リカバリしていただけます。また、スタンドアロン構成でも、以下の手順で同様にご 利用いただけます。

1.2 製品のインストールと操作

製品のインストール及び、操作方法については以下のガイドを参照してください。(本ガイドでは RDX に特化した内容のみを記載しています。)

『トライアルガイド:モジュールダウンロードから環境設定、復旧まで』

http://www.arcserve.com/~/media/Files/TechnicalDocuments/asd2d-I-r165-Trial-guide.pdf

2. バックアップ先の設定とバックアップ

2.1 バックアップの設定とバックアップ

--- RDX メディアの認識 ---

- (1) バックアップ対象サーバに RDX を接続し、RDX のフォーマット タイプを確認します。
- (2) (1)で NTFS にフォーマットされていた場合、D2D Linux が対応しているファイル システムでフォーマットし直します。
- (3) RDX を任意のディレクトリにマウントします。
 - 例) # mkdir /mnt/rdx # mount /dev/sdc1 /mnt/rdx

※ ここでは、新規にディレクトリを作成し、マウントしています。

--- バックアップジョブの作成 ---

- (4) D2D Linux の WEB UI より、バックアップジョブを作成します。
- (5) バックアップ先で [ソースローカル] を選択し、/mnt/rdx に指定するジョブを作成し、バックアップ を実行します。



3. リストア

3.1 ファイルのリストア

- (1) バックアップ対象サーバに RDX が接続され、カートリッジが挿入されていることを確認します。
- (2) ブラウザを起動し、D2D サーバに接続します。
- (3) Web GUI 画面から、[リストア]アイコンをクリックし、ドロップダウンメニューから[ファイルのリストア]を選択します。
- (4) リストア ウィザードが開始されるので、[次へ]をクリックします。
- (5) セッションの場所で[ローカル]を選択し、バックアップした RDX(ここでは/mnt/rdx)を指定して、[接続]ボタンを クリックします。

回復する復旧ポイントを選択します。					
セッションの場所	ローカル Y /mnt/rdx	→	<i>刘</i> 接統		
マシン	d2d-server	¥			

(6) リストアしたいファイルのバックアップ対象サーバ、復旧ポイント、リストアするファイルを指定しリストアを実行しま す。

3.2 ベアメタル復旧

D2D Linux インストール時に作成される ISO イメージを書きこんだ Live CD で起動し、RDX に保存されているバッ クアップ データからベアメタル復旧を行います。(ISO イメージは、/opt/CA/d2dserver/packages ディレクトリに 作成されています。)

- (1) ベアメタル復旧するマシンに RDX が接続され、カートリッジが挿入されていることを確認します。
- (2) Live CDを CD/DVD ドライブにセットし、ISO イメージから復旧対象のサーバを起動します。
- (3) Live CD と接続するための URL をメモしておきます。

Machine IP: 192.168.59.128(eth8) Use the following URL to access https://192.168.58.128:8014 To enter shell environment, press "ENTER" key. To return to this dialog from the shell, run "exit" command. Note: If you have a problem booting this machine using PXE, you could use the IP address above to create a restore job instead.	CA ARCserve	D2D for Linux - Live CD Environment
Use the following unit to access and manage this CA ARCserve D2D for Linux: https://192.168.58.128/18014 To enter shell environment, press "ENTER" key. To return to this dialog from the shell, run "exit" command. Note: If you have a problem booting this machine using PXE, you could use the IP address above to create a restore job instead.	Machine IP:	192.168.50.128(eth0)
To enter shell environment, press "ENTER" key. To return to this dialog from the shell, run "exit" command. Note: If you have a problem booting this machine using PXE, you could use the IP address above to create a restore job instead.	use the foll https://192.	owing unit to access and manage this CA ARCserve D2D for Linux: 168.50.128:8014
Note: If you have a problem booting this machine using PXE, you could use the IP address above to create a restore job instead.	To enter she To return to	ll environment, press "ENTER" key.) this dialog from the shell, run "exit" command.
	Note: If you the IP addre	have a problem booting this machine using PXE, you could use ss above to create a restore job instead.
(<u>C</u> rter Shell)		(Enter Shell)

- (4) [Enter Shell]をクリックし、Shell モードに入り、RDX をマウントします
 - 例)



(5) 手順(3)でメモした Live CD を指定し、ブラウザから Live CD へ接続します。

Firefox *				_ _ _ _	
CA ARCserve D2D for I	Linux	+			
🗲 🔒 https://192.168.5	0.128:8014		☆ マ C 🛛 🖁 ◄ Google	۹ 🗣 ۹	
technologies CA A	ARCserve® D2I	D for Linux r16.5		G <u>ログアウト</u> 김 <u>ヘルプ</u> ー	
D2D サーバ	ノード	ウィザード ジョブ バ	ックアップ ストレージ ツール		
	2 定 🔀	💽 📑 🖟 今すぐ実行 🔀 変更	🗗 🔀 🕱 🖉 👘 🕅		
aai 2011 🗑 01tai	10 🔮 10 RE	パックアップ リストア 😧 キャンセル 🗃 削除 🔒	atu 會 削除 更新 フィルタ		
▲ 🛃 D2D サーバ	- 概要 - ノード	ジョブ ステータス ジョブ発歴 アクティビティ ログ パックフ	ペップ ストレージ		
🦳 linuxd2d	サーバ情報		リソース使用率		
	OS バージョン:	CA ARCserve D2D for Linux - Live CD	CPU 使用率:	1%	
	稼働時間:	0 🗄 00:00	物理メモリ (空き/合計):	1.42 GB/1.98 GB (71%)	
	実行中ジョブ:	0	スワップ サイズ (空き/合計):	0/0 (0%)	
	リストア ユーティ	リ インストール完了	インストール ボリューム サイズ (空き/	0/0 (0%)	
	54.				
	パックアップ スト	// ምግቻ 2トレージ			
	パス		種類	合計サイズ	
	۲])				
	ノード サマリ		ジョブ履歴サマリ		
			合計: 0		
	利用可能なデータがありません。		完了: 0		
			失敗: 0		
				〒44水平	
			1 7: * 195	INTREAD DAVING DAVE NO	
		💼 保護されているノード: 💼 前回の バックアップ失敗:			
	≡ ^{6#//-F:}	■ 保護されているノード: 前回のバックアップ失敗: 0 0	キャ ンセ 0		

- (6) [リストア]アイコンから[ベアメタル復旧(BMR)]を選択します。
- (7) リストア ウィザードを進め、セッションの場所で[ローカル]を選択し、バックアップした RDX(ここでは/rdx)を指定 して、[接続]ボタンをクリックします。

回復する復旧ポイ	ントを選択します。	_	
セッションの場所	ローカル 💙 /rdx	✓ →	》 接統
マシン	target-server	*	

- (8) リストアしたい復旧ポイントを選択し、リカバリ対象のディスク名を確認し、[次へ]をクリックします。
- (9) [MAC/IP アドレス]に Live CD 画面に表示されている IP アドレスを入力し、[ターゲットマシンの設定]の各情報を入力します。
- (10) 実行スケジュールを設定し、ベアメタル復旧を実施します。
- (11)リストアが開始されたら、Live CDを CD/DVD ドライブから取り出します。
- (12) ベアメタル復旧後は自動でサーバが起動するので、リカバリが完了していることを確認します。

4. 注意事項

4.1 バックアップ データ ボリュームの除外

D2D Linux では、バックアップ先のボリュームを自動的にバックアップ対象から除外します。しかし、同一のカートリッジ に対しマウントパスが複数存在する場合、バックアップ先のボリュームが除外されません。自動マウントによって設定さ れたマウントポイントをアンマウントし、バックアップ先に指定したディレクトりを唯一のマウント先としてください。

[参考:バックアップ先ボリュームの除外メッセージ ログ]

● 45 バックアップ - 2013/10/31 午後 2013/12/4 午後 7:16:41 target-server 4:01:00	指定されたバックアップ先 (/mnt/rdx) が同じボリュームに配置 れているため、ボリューム /mnt/rdx はバックアップ ジョブから 自動的に除外されます。	ŗ
---	---	---

5. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

5.1 製品情報

製品マニュアル

http://www.casupport.jp/resources/D2D165lnx/manuals/

動作要件

http://www.arcserve.com/jp/lpg/jpsupport/sysreq/d2d165lnx.aspx

その他のサポート情報

http://www.arcserve.com/jp/support.aspx

5.2 トレーニング情報

各種トレーニングを開催しております。

◆ 無償トレーニング

機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。どなたでも参加いただけますので、この機会にご活用ください。(競業他社の方はお断りしております。)

http://www.arcserve.com/jp/lpg/seminar.aspx

◆ セルフトレーニング

Web で気軽に Arcserve シリーズの画面を操作できるセルフトレーニングも用意しています。是非ご活用ください。

http://www.arcserve.com/jp/lpg/online-demo

5.3 お問い合わせ

本ガイドに関するご質問やお問い合わせ、製品ご購入前のお問い合わせはジャパン ダイレクトまでご連絡ください。 Arcserve ジャパン ダイレクト連絡先 (http://www.arcserve.com/jp/lpg/customer-care.aspx)

フリーダイヤル:0120-702-600

E-mail: Web フォーム(<u>https://ssl.caj.co.jp/caform/index.php5?proc=form_quest&form_id=1367</u>)

営業時間:平日 9:00~17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます。

※Arcserve 製品に関しては、Facebook ページ(Arcservejp)でも受け付けています。